



まほろば

＜校訓＞ 『真理を求め友愛に生きる』

～「めくもり」と「輝き」のある東和中学校をめざして～

令和8年5月13日（水）

第3号

花巻市立東和中学校

TEL 42-4221

FAX 42-4222

地域イベントで活躍①～土澤アートクラフトフェアでのボランティア～

5月3日（日）4日（月）は、土澤アートクラフトフェアが行われ、2日間で10万人を超える人が東和を訪れました。4月には実行委員会の武政美紀子さんより「今年も東和中生に前日準備と当日にボランティアとして参加してほしい」との依頼がありました。そこでボランティア委員長石川明里さんが、ボランティア募集のチラシを作成。全校朝会では生徒会長菊池さんと石川さんから、全校生徒へボランティアの参加を呼びかけ、11名のメンバーが集まりました。3日間それぞれが参加できる範囲で、全員地域の祭りを盛り上げたいという思いで参加。地域のイベントを通して、東和を盛り上げたい！という地域の方々と同じ思いで参加できる東和中生を誇りに思いました。また、実行委員会からは、運営が円滑に進んだと御礼の言葉もいただきました。10月11・12日が次回開催予定。参加した人達は、地域イベントでしか学べないことや充実感を得ているので、ぜひ次回も多くの東和中生に参加して欲しいと感じました。

チラシを作成・3日も作業した石川 明里さん

「アンケートの呼びかけは声をかけても断られて、何度も心が折れそうになったけれど、たくさんの人にアンケートにご協力していただけて嬉しかった。テント設営も組み立てが難しかったけど、皆で協力してできたのでよかった。また機会があったら参加したい。」

2日 準備の椅子机並べ作業をした高橋 幹愛さん

「楽しそうだったので参加した。風が強かったので、あまりたくさんお手伝いできなかったけれど、楽しかった。」

3日 テント設営・来場者アンケートをした笹川 凌雅さん

「地域の祭りを盛り上げようと思ったから参加した。県外から来ている人が多く驚いた。赤ちゃん用のテントを使っている人がいて、テントをたてたかいいと思った。」

参加者一覧		1-2	笹川 彩葉
1-2	高橋 幹愛	2-1	小川 明文
2-2	小原 沙月	2-2	中島 恭一
3-1	石川 明里	3-1	川村 禾倫
3-1	笹川 凌雅	3-1	多田 銀次
3-1	名取 日和	3-2	伊藤 望結



地域イベントで活躍②～萬鉄五郎祭での総合文化部による「朗読」～

同じく3日（土）には、萬鉄五郎祭が記念館で開催されました。萬鉄五郎の5月1日の命日にあわせ、献花や朗読を行う記念式典での朗読の依頼が、記念館より中学校へありました。総合文化部2年の金澤結衣さん、菊池彩歌さん、小原明華さんの3名が、萬鉄五郎の遺族や市長をはじめとした地域の方々を前に、萬鉄五郎が書いた『鉄人画論』から「技術という事」「自分の考えを言う」という少し難しい論文朗読に挑戦しました。3名は本番に向けて練習を重ね、東和中生だからできる貴重な機会である式典で、大切な役割を果たしました。



金澤 結衣さん

リハーサルの時は、とても緊張していて、どうしたらいいかわからないところもあったけど、先生が「いつも通りで大丈夫」と言ってくれたので、その言葉のおかげで、本番は緊張せず、上手く読むことができました。いろいろな方に見て聞いてもらえて嬉しかったです。

うれしいお便り

修学旅行の2日目。3年生は浦安マーケットで、たかすどう「金勢味噌」を販売し、1年生から仕込み手作りした「東和っ子ぬくもり味噌」を試食提供する貴重な体験をしてきました。その販売で3年生に出会った浦安に住む女性から、感想のお便りが届きました。

中学校3年間の「東和創造学」を通して、地域の方々から東和のことや、それぞれ携わっている仕事と生き方について学ぶことは、大人になるために素晴らしい学習ができていることを実感しました。この「東和創造学」の学習には、東和中生を応援してくれる地域の方が多くいらして、この体験学習を通して、地域や将来を考え、素敵な大人になってほしいという地域の方々の熱い思いがたくさんつまっています。

今年度も地域の方々から学び、自分の生き方を考え、その学びを発信する機会がたくさんあります。皆さんがどんな学びをするかとても楽しみです。

体育祭～「熱志創輝」

どちらの組団も、練習から本気でぶつかりあい、仲間の頑張りを認め励まし合いながら、当日に向かっていきます。どんな盛り上がりを見せるでしょうか。綱引きへのご参加もよろしくお願いいたします！

竜驤虎視 (りゅうじょうこし)	千紫万紅 (せんしばんこう)
黄組：3年1組 2年2組 1年1組	紅組団：3年2組 2年1組 1年2組
組団長：小田島和永・応援団長：小川智愁	組団長：菊池勇友・応援団長：吉澤拓哉



花巻市立東和中学校
令和8年度3年生の皆様

関東は桜が過ぎ、新緑の風が爽やかな季節となりました。突然のお便り失礼いたします。先週4月14日、JR新浦安駅前【東和っ子ぬくもり味噌】を購入させていただいた新名(にいな)と申します。私は宮城県出身で浦安に住んで20年、近くの大学病院で給食業務に携わっている管理栄養士です。消費者の立場から、生産者の皆さんにぜひ感想をお伝えしたくお便りさせていただきました(関節リウマチという持病があり、長時間ペンが持てないためパソコンで失礼いたします)。

あの日は朝から主人と買い物に出ていましたが、中学生のかわいらしいチラシと元気な声に吸い込まれるようにテントへ行くと、地元で作られた金勢味噌と自分達で手作りしたお味噌を持って花巻からやって来た皆さんがいました。少し緊張しているような、でも楽しそうな、自信に満ちた笑顔で一生意味説明してくれる皆さんの作品を食べてみたくて、喜んで買って帰りました。

私の主人は九州出身なので、普段は甘めの麦味噌を食べていますが、東北人の私は皆さんのお味噌に「懐かしい！これこれ！」と思わず嬉しくなりました。キリッ塩辛く旨味のある素朴な味、大豆のホクホクした食感が残るお味噌は、久しぶりに食べた故郷の味でした。そのままきゅうりに付けたり、お味噌汁にして、大事に美味しくいただきました。

『自分達で作ったものを自分達の手で販売する』そんな唯一無二の体験をさせてあげたいという先生方の熱意やご準備があって、今回皆さんが素晴らしい経験をされたことと想像しました。なかなか出来ることではないし、素敵な環境だなぁと羨ましく思いました。

我が家の話になりますが、私には18歳の息子がいます。食べるのが大好きで、小さい頃からよく一緒に料理をしています。小学6年の時に観たドラマ『おいしい給食』に影響を受けて先生という職業に憧れ、中学では吹奏楽部、高校ではオーケストラ部に全力投球、そして、この春から家政学科のある大学に入学して『家庭科教師』という目標に向かって新たな勉強が始まりました。

今回皆さんは、自分達の方で成し得たことに自信を持ったり、生まれた場所に誇りを持ったり、出会って素晴らしいと感じたり、いろいろなことを感じる機会になったことと思います。ぜひその気持ちをいつまでも大事にしてください。そして、ディズニーだけじゃない『浦安』という場所が良い思い出として記憶に残ってもらえたら嬉しいなと思います。

これからが中学校生活の集大成ですね！どうか卒業まで体に気を付けてお過ごしください。美味しいお味噌をありがとうございました。